

**基本構想 行政経営の方針に係る各部会からのご意見ご提案に対する事務局案 (行財政専門部会)**

内容区分		ご意見・ご提案の内容	ご提案・ご意見に対する考え方
1	前文について	前文にある市民本意の意味合いについて(教育部会)	市民本意については、市民の気持ちになって行政を運営していく意味合いで表したものである。表示については、「本位」で統一したい。 本意 = その人の・本当(本来)の気持ち。 本位 = 考え方・(行動)の中心とする基準。
2	1 市民、地域、関係団体や行政との表現について	全体に共通することであるが、市民、地域、関係団体や行政との表現について、長野市の総合計画を考えるうえで、統一的な表現にしてはどうか。(環境部会)	市民と行政の関係をより明確に表現するために、各分野で中心的に取り組む対象を分かりやすく具体的に上げたものである。表現については現状のままをしたい。
3	2 地域の個性をいかした住民自治の推進	自己責任という表現は、「あなたが失敗したら知らないよ」というニュアンスを感じる。自立ということは、自己責任がともなうことであることは理解しているが、あえて書かれると引いてします。中身は良いが、活字になるとそう感じる。(福祉部会)	自分達の地域は、自分達で創っていくといった、住民主体の活動に対する積極的な支援していくことを表しているものであり、表現については、現状のままをしたい。
4	4 行政改革の推進と効率的な行財政運営について	小さな市役所の表現について、どのような意味なのか。小さな市役所ではイメージしにくい。(産業部会)	民間活力の活用や行政改革の推進により、真に必要な住民サービスを提供しつづけるため、行政全体をスリム化、効率化した小さな市役所を目指すもで、要素を一体とした表現に修正したい。
5		小さな市役所の表現について、民間活力の導入と行政改革の推進により、小さな市役所を目指すとしたらどうか。(都市整備部会)	
6		民間活力の導入について、何でも民間に任せるのではなく、慎重な導入を意見として申し上げる。(都市整備部会)	
7	注釈について	協働の注釈について、これを読んだだけでは分かりにくい、今までより意欲的なことをやろうということが分かるようにならないか。(防災部会)	「市民公益活動促進のための基本指針」から定義を引用しているもので、注釈全体のバランスを見て今後検討していく。

基本構想 施策の大綱(素案たたき台)に係るご意見ご提案への事務局案

(都市整備・土地利用部会)

内容区分		ご意見・ご提案への事務局案	
都市整備分野			
1	中タイトル1 内容1	・中心市街地の再生というワークショップでも多めに議論された分野の割には、章全体のなかであまり印象的な文章になっていない。もっとインパクトのある表現にしてほしい。	・章全体のバランスを考慮し、現行どおりとしたい。
2	中タイトル1 内容1	・全体的に文章が解りづらい。「身近な生活圏を中心とした拠点地域づくり」を推進し、公共交通などで互いの生活圏を結び、「相互に連携して都市機能を分担する」とすれば解り易い。	・「 <u>身近な生活圏を中心とした拠点地域づくりと、それらを公共交通ネットワーク等で結び、相互に機能分担するコンパクトな街づくりを推進</u> 」とする。 コンパクトとは、拠点地域が相互に連携し機能分担することにより、市街地の拡大を抑制し、効率的なまちづくりを推進すること
3	中タイトル3 内容2	・全体的に教育に関する要素が抜けている。	・地域間連携の交流要素を「観光、経済、文化、教育等～」とする。
4	中タイトル4 内容2	・「地域特性をいかし合い」と「補完することによって」は並べる必要があるのか。	・「補完することによって」は削除する。
5	注釈	・ユニバーサルデザインの「すべての人が使いやすい～」の前段に例示を入れるのであれば、性別も加えるべき。例示がなくても良いのでは。	・簡潔に分かりやすくするため、例示は削除する。
土地利用構想			
6	基本理念	・視点到長野らしさを明確に謳うべき	・基本理念の「歴史的風土の保全」、「国立公園をはじめとする豊かな自然環境の保全」等の表現が、長野らしさを表していると考え。
7	(1)市街地 地域 ア地域全般	・「既存の公共施設（道路、公園等）」に学校を加えてほしい	公共施設の範囲は幅広いので、例示はせず、「既存の公共施設」という表現とする。
8	注釈	・「市街地の外延的拡大の抑制」の説明として、「漠然とした市街地の拡大の抑制」という表現はわかりづらい	本文を「外延的な市街地の拡大を抑制し」とし、注釈は削除する。